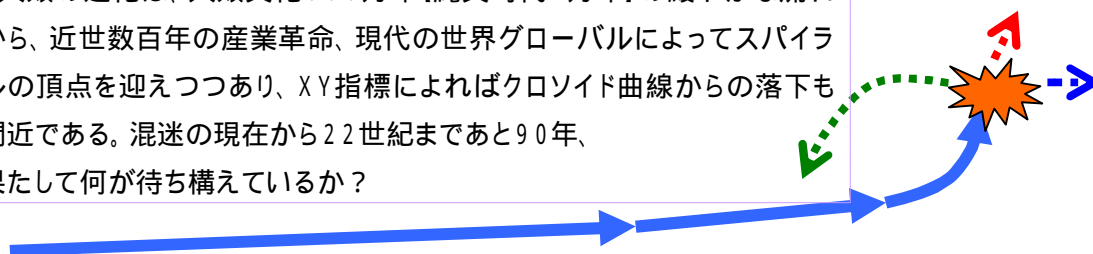


序. クロソイド曲線

人類の進化は、人類文化600万年【縄文時代1万年】の緩やかな流れから、近世数百年の産業革命、現代の世界グローバルによってスパイラルの頂点を迎えつつあり、XY指標によればクロソイド曲線からの落下も間近である。混迷の現在から22世紀まであと90年、果たして何が待ち構えているか？



どうなっているnippon 縄文に学べ!

- ・超高齢化社会
- ・脆弱な自給率・経済
- ・携帯情報中毒
- ・悲惨な事件続発
- ・政治家逃亡、
- ・帝国金融崩壊！
- etc



- ・先が見えない時代！
- ・子供はどう育つのか？
- ・地域社会はどうなるのか？
- ・国の安全・安心して何？？
- ・身の丈がわからない
- e t c



縄文に学べ

⇨ 悠久の縄文時代一万年に、日本人の原点があった！

日常生活圏の “ムラ”の炉辺 で豊かなコミュニケーションがあった。
 たまには、山を越えた “ハラ” 広域生活圏で自然との共存共生のアウトドアをしていた。
 火焰土器に代表される高度な芸術的センスと、貴重品を贈与する気っぶの良さを持っていた。
 近傍の山・自然を崇め、争いはまだない
 数十世代（数百年）に継承される土木・建築造営工事（三内丸山遺跡、寺野東遺跡）

📎 スパイラルの落下地点へタイムスリップ 糸島半島に縄文さん出現

世界グローバル・アメリカ支配からの脱却も間近！
 様々な多時代のライフスタイルが共存していく



縄文時代風：原点・原石 平安・室町時代風：文化、芸術
 江戸時代風：規律・エコ社会 明治時代風：進取・自由・闊達
 スパイラル分裂 - ○ - ○ - ○

多時代共存

福岡都市圏の縄文さんエリアの空間整備 / 糸島・脊振ハラの空間構成

北部九州は、古代から近代産業の遺跡の宝庫 【北部九州歴史コリドール】 縄文・弥生時代～近代の遺産、 各時代のいいとこ取りと共存・連携	ムラ・ハラの徒歩圏で 地域の風土を体感 物質文化の脱却、 精神文化の復活 都市(物質文化)との共存
---	---

